

小・中・高等学校の学校管理下で近年発生した熱中症による死亡事故
(学校事故事例検索データベース(独立行政法人日本スポーツ振興センター)より)

[24 年度給付]

○死亡生徒：高等学校 2 年生男子

〈体育的部活動：登山〉

山岳部の月例登山で、7 時 30 分に登山開始。途中休憩をとりながら頂上付近に到着。20 分間の昼食休憩をとった後下山を開始。40 分後に 10 分間の休憩をとった。各自が給水等を行い、再び出発し 35 分経過した頃、本生徒の様子がおかしいので、顧問がリュックを取り外そうとしたところ、倒れかかってきてそのまま意識不明となった。倒れる 1 分位前まで普通に下山しており、顧問も同行の生徒も全く異常に気付かなかった。ヘリコプターで病院に搬送され集中治療室で治療を受けるが、数日後に死亡した。

○死亡生徒：高等学校 2 年生男子

〈体育的部活動：ラグビー〉

顧問の指導・監督のもと、インターバルトレーニング中に気分が悪くなり意識を喪失した。直ちに病院に搬送、治療を受けるが、数日後に死亡した。

○死亡生徒：高等学校 1 年生男子

〈体育的部活動：野球〉

野球部部活動で、周辺のランニングを実施した。13 時 45 分頃に全員で出発して折り返し地点に給水所を設け、生徒全員が給水したことを顧問教諭とマネージャーが確認した後、車で顧問がランニングコースを見回った。その後、全員が帰ってきたと思い、校内グラウンドにてミーティングを実施後、投球練習と素振り等の技術指導を行い、19 時頃に解散した。翌日早朝、保護者からの連絡で、本生徒が帰宅していないことが判明し捜索願を出した。警察官、学校関係者と野球部生徒が捜したところ、ランニングをした市道路から外れた 7m 下の斜面で本生徒の遺体が発見された。

[23 年度給付]

○死亡生徒：高等学校 2 年生男子

〈体育的部活動：剣道〉

午前 9 時から体操・素振り・足さばきなどをし、水分補給および休憩(約 30 分)を行った。練習を再開し、面打ち・切り返し・打ち込みなどが行われた。後半の練習は被災生徒が倒れるまで水分の補給や十分な休憩を行うことなく、約 1 時間半後に倒れた。病院に救急搬送され治療を受けたが、同日死亡した。

○死亡生徒：高等学校1年生男子

〈体育的部活動：柔道〉

他校との合同練習で、本生徒は都合により午後の部から参加。13時から始まり、準備運動、立ち技乱取りと練習メニューをこなしていった。サーキットトレーニングを開始してからしばらくして、足元がふらつき倒れそうになったので、近くの生徒が体を支え畳に横臥させた。意識・呼吸・脈の確認後、救急車を要請、待機中には、気道確保・アイシング等の応急処置を行った。近くの病院に搬送されたが、改善が見られず他の病院に転院した。処置を受けるが、数日後に死亡した。

○死亡生徒：高等学校3年生男子

〈体育的部活動：ラグビー〉

ラグビーの練習中にランニングをしていた。その際に、気分不良になった。すぐに全身を冷やしながらか、水分補給をし、救急車到着までに、意識が無くなったので心肺蘇生をした。病院に搬送したが、同日死亡した。

○死亡生徒：高等学校2年生男子

〈体育的部活動：野球〉

7月の野球部の練習で、本生徒は100mダッシュで足がつったので休憩した。その後、顧問が体調を確認してから、残りの100mダッシュを再開した。生徒は足がもつれるようになり、部員に抱えられてうつぶせに倒れ込む。救急車に収容、病院に搬送後、ICUの治療を行ったが、約1カ月後に死亡した。

○死亡生徒：高等学校1年生男子

〈体育的部活動：投てき〉

8月の3日間、他の高校での合同合宿に参加していた。当日は最終日のため午前中で練習を終了予定で、終了ミーティングを行う前に、本生徒が気分が悪くなり、熱中症の様相を呈していた。すぐに顧問が応急処置をし、救急車で病院に搬送し、加療も受けるも数日後に死亡した。